

# 署長による安全パトロールを実施しました

～ 年末・年始労働災害防止強化運動実施中～

茨城県内の平成 30 年の労働災害による死亡者数は 11 月末現在で 18 人となり対前年比 5 人増加、休業 4 日以上労働災害についても 2620 人と対前年比 221 人の増加となっており、極めて憂慮すべき事態となっています。

業種別では、製造業において休業 4 日以上労働災害による被災者数が 751 人と最も多く、前年同期と比較し 65 人も増加している状況にあります。

年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・始動等の作業が多くなるほか、積雪や凍結による転倒等の危険が増すところです。

各事業場においては、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、非正常作業における安全確認の徹底、保護具等の点検の実施、転倒等への注意喚起、労働者の健康状態の確認など、職場の総点検に全員で取り組むことが一層重要となります。

このような状況から、日立労働基準監督署では、平成 30 年 12 月 19 日（水）に署長による安全パトロールを実施しました。

蒸気タービン、発電機、中小型ガスタービンなどを製造する三菱日立パワーシステムズ株式会社日立工場内を、日立労働基準監督署長をはじめ、監督署職員が巡視し、安全衛生管理活動の状況等の説明を受けながら、安全な作業を実施するための措置や取り組み等の状況の確認を行いました。



三菱日立パワーシステムズ株式会社日立工場の担当者より、安全衛生管理活動の状況等の説明を受ける日立労働基準監督署長

## 安全パトロールの様子



説明を受ける日立労働基準監督署長



説明を受ける労働基準監督官